

山梨

19) 堀江幸男, 新井研治, 栗本昌紀, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 黒木登志夫: ヒト小脳血管芽腫由来培養細胞の性状. 第43回日本脳神経外科学会総会, 1984, 10, 千葉.

20) 平島 豊, 本 敦文, 岡 伸夫, 杉田 毅, 遠藤俊郎, 高久 晃: 虚血脳 PI-specific phospholipase C 活性に及ぼす S-Adenyl-L-Methionine (SAMe) の影響. 第43回日本脳神経外科学会総会, 1984, 10, 千葉.

21) 遠藤俊郎, 神山和世, 大辻常男, 岡 伸夫, 塚本栄治, 高久 晃: 頸部内頸動脈高度狭窄例に対する急性期血栓内膜切除術. 第43回日本脳神経外科学会総会, 1984, 10, 千葉.

22) 遠藤俊郎: 頸部内頸動脈血栓内膜剝離術. 東北大学慶応大学 Joint ビデオカンファレンス, 1984, 10, 仙台.

23) Hirashima Y., Moto A., Endo S., Takaku A: The activities of PI-specific phospholipase C and lipase in ischemic rat brain, 6th international symposium on brain edema 1984, 11, Tokyo.

24) Hirashima Y: The activities of phospholipase A, lysophospholipase, PI-specific phospholipase C, lipase and acyl CoA lysophospholipid acyltransferase in ischemic rat brain. Sendai Forum'84 1984, 11, Hanamaki.

25) 小野武年, 山谷和正, 西野仁雄, 福田正治, 西条寿夫: 前頭野ニューロンの刺激内容応答性. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

26) 大井政芳, 平島 豊, 岡 伸夫, 中田潤一, 高久 晃: VP shunt 術後の metrizamide CT 脳槽撮影で遷延性意識障害をきたした1例. 第13回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 12, 名古屋.

27) 野上予人, 齊藤哲現, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 頭蓋内動眼神経鞘腫の1例. 第13回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 12, 名古屋.

◆ その他

1) 高久 晃: 小児の脳血管性障害. 関西脳神経外科懇話会, 1984, 4, 大阪.

2) 遠藤俊郎, 平島 豊, 本 敦文, 高久 晃: 脳血管障害と生体防御反応. 生体防御講演会, 1984, 10, 富山.

3) 遠藤俊郎: めまいとその周辺. 新湊市射水郡医師会合同研修会, 1984, 11, 富山.

整 形 外 科 学

教 授	辻 陽	雄 雄
助 教	玉 置	哲 也
講 師	伊 藤	達 雄
講 師	館 崎	慎 一 郎
助 手	山 田	均 治
助 手	加 藤	義 治
助 手	海 木	玄 郷
助 手	高 野	治 雄
助 手	松 井	寿 夫
助 手	清 水	美 恵 子
文部技官	佐 野	明 美

◆ 著 書

1) 辻 陽雄: 脊椎の発生. 「新臨床整形外科全書, 5-A」天児民和監, 1-8, 金原出版, 1984.

2) 辻 陽雄: 硬膜内および硬膜外腫瘍. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 129-143, 金原出版, 1984.

3) 辻 陽雄: クモ膜炎. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 173-174, 金原出版, 1984.

4) 辻 陽雄: 硬膜外癒着. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 175, 金原出版, 1984.

5) 辻 陽雄: 硬膜外血腫(出血) 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 176, 金原出版, 1984.

6) 辻 陽雄: 硬膜外膿瘍. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 177, 金原出版, 1984.

7) 辻 陽雄: いわゆる腰痛症. 「今日の治療指針」26, 527-528, 医学書院, 1984.

8) 辻 陽雄: 脊髄腫瘍とその周辺疾患. 「整形外科診療図譜」山本 真他編, 296-307, 金原出版, 1984.

9) 玉置哲也: (脊椎疾患) 診断総論——臨床検査—— 「新臨床整形外科全書, 5-A」天児民和監, 80-94, 金原出版, 1984.

10) 玉置哲也: 脊髄誘発電位とその応用. 「図説臨床整形外科講座」池田亀夫他監, 68-71, メジカルビュー社, 1984.

11) Tamaki T., Noguchi H., Takano H., Tsuji H., and Dincer M. D.: The effects of hypovolemic hypotension and hypoxia on the jeopardized spinal cord. In Fundamentals and Clinical Application of Spinal Cord Monitoring, by Homma S. and Tamaki T. (Ed.), 145-154, Saikon Press, Tokyo, 1984.

12) Imai K., Kobayashi H., Nakagawa T., Inoue S and Tamaki T. : Experiences and analysis of spinal cord monitoring during surgery, In Fundamentals and Clinical Application of Spinal Cord Monitoring, by Homma S. and Tamaki T. (Ed.), 211—222, Saikon Press, Tokyo, 1984.

◆ 原 著

1) 平野典和, 海木玄郷, 本江 卓, 伊藤達雄, 神代靖久: Klippel-Feil 症候群に伴う頸髄損傷の 1 治験例. 臨床整形外科 19: 1159—1163, 1984.

2) 今井克己, 村上正純, 中川武夫, 井上駿一, 玉置哲也: 脊椎, 脊髄外科における脊髄誘発電位を用いた術中脊髄モニタリング法の検討—術後神経合併症と電位変化の関係について—. 日本整形外科学会雑誌 58: 258—259, 1984.

3) 伊藤達雄, 辻 陽雄, 浦山茂樹, 米沢孝信, 石井 勉, 堤 博史: 腰仙部 X 線診断における Postero-Anterior 像とその意義. 中部日本整形外科学会雑誌 27: 981—982, 1984.

4) 加藤義治, 辻 陽雄, 佐野明美: EHDP 大量投与による骨軟骨骨化障害 rat の autoradiography による検討. 整形外科基礎科学 11: 199—202, 1984.

5) 丸田喜美子, 伊藤達雄, 山田 均, 本江 卓, 寺沢捷年: 診断に苦慮した foramen magnum meningioma の 1 例. 整形外科 35: 839—844, 1984.

6) 松井寿夫, 伊藤達雄, 本江 卓, 平野典和, 辻 陽雄: 腰椎々間板造影法における俯瞰撮影法の有効性について. 中部日本整形外科学会雑誌 26: 1248—1251, 1983.

7) 森田多哉, 館崎慎一郎, 本江 卓, 松井寿夫, 西島宗孝: 脊椎に発生した単発性好酸球形肉芽腫の 3 症例. 整形・災害外科 27: 1271—1275, 1984.

8) 西島宗孝, 館崎慎一郎, 山田 均, 宮田美恵子, 堤 博史: 外傷性若年者腰部椎間板ヘルニアの 2 例. 整形・災害外科 27: 129—133, 1984.

9) 野口哲夫, 玉置哲也, 館崎慎一郎, 大内純太郎, 岡野良文, 服部孝直: 足根管症候群の臨床的考察. 中部日本整形外科学会雑誌 37: 1145—1151, 1984.

10) 坂巻 皓, 黒田重史, 鍋島和夫, 伊藤 豊, 伊藤達雄: 頸椎症に対する椎体前方固定術術後長期 (10年以上) 経過群の臨床 X 線の検討. 臨床整形外科 19: 435—440, 1984.

11) 高桑一彦, 野口哲夫, 加藤義治, 海木玄郷, 高野治雄, 森田多哉, 玉置哲也: 嚢胞状陰影を呈し

た膝蓋骨結核の 1 症例. 臨床整形外科 19: 609—612, 1984.

12) Tamaki T., Takano H., Tsuji H., Nakagawa T., Imai K. and Inoue S. : Spinal cord monitoring as a clinical utilization of the spinal evoked potential. Clin. Orthop. 184: 58—64, 1984.

13) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 松井寿夫, 八島省吾, 落合 宏: Dunn 骨肉腫細胞の分化誘導に関する基礎的研究 (第 1 報). 日本整形外科学会雑誌 58: S60—S61, 1984.

14) 辻 陽雄, 伊藤達雄, 米沢孝信: 腰椎—多発性関節リウマチにおける腰椎部リウマチ病変について—. 関節の外科 11: 65—70, 1984.

15) 辻 陽雄, 本江 卓, 伊藤達雄, 玉置哲也: 前側方髄核摘出術 (EPALD) の術後成績. 中部日本整形外科学会災害外科学会雑誌 27: 120—121, 1984.

16) 辻 陽雄: 腰部椎間板ヘルニアに対する腹膜外路前側方髄核摘出術. 整形外科 35: 795—803, 1984.

17) 浦山茂樹, 館崎慎一郎, 本江 卓: 血行性化膿性脊椎炎—とくに transdiscal abscessography について—. 整形・災害外科 27: 1943—1947, 1984.

18) 山田 均, 半田豊和, 伊藤達雄, 辻 陽雄, 館崎慎一郎, 大島 博: 脊椎カリエスによる結核性大動脈瘤形成例を中心として—. 中部日本整形外科学会災害外科学会雑誌 27: 832—834, 1984.

19) 山田 均, 伊藤達雄, 辻 陽雄, 玉置哲也, 平野典和, 西島宗孝, 寺沢捷年: 頸椎症性変化を伴う脳脊髄疾患の臨床的検討. 整形外科 35: 1513—1521, 1984.

20) 山田 均, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 平野典和, 小田切喜美子, 辻 陽雄: 大殿筋皮弁による仙骨部褥瘡の治療. 整形外科 35: 227—232, 1984.

21) 吉岡 勉, 辻 陽雄, 加藤義治, 宮田美恵子, 西能正一郎, 西能 竝: 健常高校生の腰椎立位機能撮影における腰椎前後屈運動の解析—とくに Instant Center を中心として—. 整形外科バイオメカニクス 4: 121—125, 1983.

22) 玉置哲也, 宮田美恵子, 松井寿夫, 辻 陽雄: 脊柱側彎症に対する under arm brace (The New York Orthopaedic Hospital Orthosis) の使用経験. 中部日本整形外科学会災害外科学会雑誌 26: 1827—1829, 1983.

◆ 総 説

1) 辻 陽雄: 高齢者腰痛, 下肢痛の考え方, 取

り扱い方. 東京臨床整形外科医会会報 8:36-47, 1984.

2) 辻 陽雄:腰痛疾患の手術適応と術式選択. 外科治療 50:302-309, 1984.

3) 辻 陽雄, 加藤義治, 米沢孝信, 関戸弘通:〈臨床講義〉胸椎椎間板ヘルニア. 日本医事新報「ジュニア版」 233:3-7, 1984.

4) 玉置哲也:脊髄モニタリング. 整形・災害外科 27:1467-1473, 1984.

5) 伊藤達雄:頸部脊柱管狭窄症. Clinical Neuroscience 2:1488-1490, 1984.

◆ その他

1) 辻 陽雄:医学と医療—整形外科卒後教育変革期によせて—. 整形外科 35:1136, 1984.

2) 辻 陽雄:臨床教育と医療. 臨床整形外科 19:961, 1984.

3) 辻 陽雄, 伊藤達雄:脊髄(卒後研修Q & A). 整形・災害外科 27:1241-1249, 1984.

4) 辻 陽雄:腰痛に対する使い方. 非ステロイド性抗炎症剤(塩川監), 46-50, 富山化学, 1984.

5) 玉置哲也:オ7回国際筋電図学会印象記. 脳波と筋電図 12:159-162, 1984.

6) 井上駿一, 玉置哲也, 渡辺誠介:頸・肩・腕の痛み, こり, シビレの診かた. 日本化薬, 1984.

◆ 学会報告

1) 高桑一彦, 藤井保寿, 本江 卓, 渡辺和敏:習慣性肩関節脱臼に対する Boytchv 変法の経験. 第90回北陸整形外科集談会, 1984, 2, 金沢.

2) 大島 博, 山田 均, 野口哲夫, 岡野良文, 米沢孝信, 小坂泰啓, 辻 陽雄:化膿性膝関節炎7例の検討. 第90回北陸整形外科集談会, 1984, 2, 金沢.

3) 八島省吾, 辻 陽雄, 館崎慎一郎, 浦山茂樹, 石井 勉:腸腰筋肢位を主訴とした化膿性脊椎炎の一例. 第90回北陸整形外科集談会, 1984, 2, 金沢.

4) 北野 悟, 辻 陽雄, 加藤義治, 平野典和, 関戸弘通:硬膜外腔に脱出した胸椎椎間板ヘルニアの一治験例. 第90回北陸整形外科集談会, 1984, 2, 金沢.

5) 小坂泰啓, 玉置哲也, 松井寿夫, 宮田美恵子, 大島 博, 高野 隆, 館崎慎一郎, 辻 陽雄:先天性脊柱側弯症28例の検討. 第90回北陸整形外科集談会, 1984, 2, 金沢.

6) 佐野明美, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 北野 悟, 関戸弘通, 高野 隆:家兎椎間板 collagen, non-collagenous protein の H-3-Lysine incorporation に関する部位別検討. 第5回放射性同位元素実験施

設利用者研究発表会, 1984, 3, 富山.

7) 山田 均, 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 岡野良文, 石井 勉, 小泉富美朝, 高田 昉, 神代靖久:膝関節に発生した色素性絨毛結節性滑膜炎の7例. 第62回中部日本整形外科災害外科学会, 1984, 4, 大阪.

8) 玉置哲也, 野口哲夫, 高野治雄, 辻 陽雄, 中川武夫, 今井克己:脊髄誘発電位による脊髄モニタリングの pit fall と二, 三の問題点. 第62回中部日本整形外科災害外科学会, 1984, 4, 大阪.

9) 野口哲夫, 平野典和, 大島 博, 宮田美恵子, 北野 悟, 玉置哲也:化膿性股関節炎の初期治療と予後. 第62回中部日本整形外科災害外科学会, 1984, 4, 大阪.

10) 高野治雄, 玉置哲也, 野口哲夫, 森田多哉, 大島 博, 関戸弘通, 辻 陽雄:脊髄刺激と末梢神経刺激による脊髄誘発電位の比較—脊髄後方急性圧迫による影響. 第7回脊髄モニタリングワークショップ, 1984, 4, 東京.

11) 玉置哲也, 野口哲夫, 山田 均, 高野治雄, 岡野良文, 高桑一彦, 小坂泰啓, 辻 陽雄:脊髄症状をともなった症例における脊髄誘発電位について. 第7回脊髄モニタリングワークショップ, 1984, 4, 東京.

12) 三橋 隆, 山田 均, 岡野良文:脛骨神経腫瘍を伴った下腿骨過成長の一例. 第91回北陸整形外科集談会, 1984, 6, 福井.

13) 渡辺和敏, 藤井保寿, 本江 卓, 高野 隆, 高桑一彦:透析患者に発生した根管症候群の2例. 第91回北陸整形外科集談会, 1984, 6, 福井.

14) 辻 陽雄, 野口哲夫, 石井 勉:不安定椎弓にたいするセラミック棘間スペーサーの試作と適応(予報). 第91回北陸整形外科集談会, 1984, 6, 福井.

15) 佐野明美, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 北野 悟, 関戸弘通:正常家兎腰椎椎間板における Collagen, Non-collagenous protein および Elastin の部位別含量と 3H-Lysine incorporation について. 第12回整形外科基礎研究会, 1984, 6, 札幌.

16) 海木玄郷, 辻 陽雄, 米沢孝信, 関戸弘通, 高野 隆, 佐野明美, 山下真一郎: H₂O₂ 定量走行負荷による実験的変形性膝関節症の作製および L-Tocopherol による進展抑制効果について(第一報). 第12回整形外科基礎研究会, 1984, 6, 札幌.

17) 加藤義治, 辻 陽雄, 北野 悟, 佐野明美:EHDP 投与 rat の autoradiography による検討—とくに硬組織所見, Ca 代謝および細胞動態を中心として—. 第12回整形外科基礎研究会, 1984, 6, 札

幌。

18) 浦山茂樹, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 西島宗孝, 石井 勉, 高野 隆, 佐野明美: 家兎腰椎椎間板髄核摘出後の細胞ならびに線維輪構築に関する光顕的ならびに電顕的変化について. 第12回整形外科基礎研究会, 1984, 6, 札幌.

19) 平野典和, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 関戸弘通, 佐野明美, 吉仲孝仁: 椎間板水代謝に関する研究(第1報) — Tritium water による正常家兎椎間板の部位別代謝について —. 第12回整形外科基礎研究会, 1984, 6, 札幌.

20) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 八島省吾, 落合 宏: Dunn 骨肉腫細胞の分化誘導に関する基礎的研究 — 第一報. 第57回日本整形外科学会総会, 1984, 6, 札幌.

21) 伊藤達雄, 辻 陽雄, 山田 均: 頸髄症判定基準に関する問題点と提案. 第57回日本整形外科学会総会, 1984, 6, 札幌.

22) 玉置哲也, 清水美恵子, 松井寿夫, 小坂泰啓, 辻 陽雄, 市田路子, 北川正信: 先天性脊柱側弯症の一部検例. 第18回側弯症研究会, 1984, 6, 札幌.

23) 松井寿夫, 伊藤達雄, 本江 卓, 市村和徳: C₁₂後方固定に対する wiring 方法の工夫について. 第13回北陸リウマチ研究会, 1984, 7, 金沢.

24) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 加藤義治, 米沢孝信, 関戸弘通, 小坂泰啓, 八島省吾: 転移性脊椎腫瘍にたいする Ceramic spacer replacement の適応と意義. 第13回脊椎外科研究会, 1984, 7, 東京.

25) 辻 陽雄: 腰下肢痛 — 分析の仕方. 第1回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1984, 8, 室堂.

26) 玉置哲也: 手の外科 — 基本手技と実際. 第1回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1984, 8, 室堂.

27) 伊藤達雄: 頸椎手術の手技と実際. 第1回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1984, 8, 室堂.

28) 館崎慎一郎: 骨腫瘍の診断と治療の考え方. 第1回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1984, 8, 室堂.

29) 伊藤達雄: Laminoplasty 手術における C₂ 処置の工夫. 第17回脊椎外科同好会, 1984, 8, 静岡.

30) 清水一夫, 玉置哲也, 加藤義治, 市村和徳, 北川秀機, 辻 陽雄: 胸髄に発生した巨大 Cystic neurinoma の一治験例. 第92回北陸整形外科集談

会, 1984, 9, 金沢.

31) 小坂泰啓, 西能正一郎, 西能 竝, 吉岡 勉, 出田富士夫: 急激に胸髄麻痺をきたした高度靱帯骨化の一症例. 第92回北陸整形外科集談会, 1984, 9, 金沢.

32) 西能 竝, 西能正一郎, 吉岡 勉, 出田富士夫, 小坂泰啓: 人工股関節置換術の予後調査. 第92回北陸整形外科集談会, 1984, 9, 金沢.

33) 玉置哲也, 中川武夫, 坪川孝志, 岩崎洋明: 脊髄不全麻痺における予後診断. 第5回脊髄シンポジウム, 1984, 9, 東京.

34) Nakagawa T., Imai K., Murakami M., Inoue S. and Tamaki T.: Spinal cord monitoring during operations on the spine and spinal cord. Société Internationale de Chirurgie Orthopédique, 1984, 9, London.

35) 加藤義治, 辻 陽雄, 丸田喜美子: 成人発症型低磷酸血症性骨軟化症の1症例とその硬組織所見. 第6回北陸Ca代謝談話会, 1984, 10, 金沢.

36) Takano H., Tamaki T., Noguchi T. and Takakuwa K.: Comparison of spinal cord evoked potentials elicited by spinal cord stimulation and elicited by peripheral nerve stimulation. Second International Symposium on Spinal Cord Monitoring, 1984, 10, Erlangen.

37) Tamaki T., Takano H., Takakuwa K., Tsuji H., Nakagawa T. and Imai K.: An assessment of use of the spinal cord evoked potential in prognosis estimation of spinal cord lesion. Second International Symposium on Spinal Cord Monitoring, 1984, 10, Erlangen.

38) 海木玄郷, 伊藤達雄, 前田明夫, 大島 博, 加藤義治, 辻 陽雄: Spondylo-epiphyseal dysplasia (以下SED) congenita に伴う respiratory quadriplegia の一手術症例. 第19回パラプレジア医学会, 1984, 11, 福岡.

39) 高野治雄, 玉置哲也, 野口哲夫, 山田 均, 高桑一彦, 森田多哉: 脊髄刺激と末梢神経刺激による脊髄誘発電位の比較(第2報: 脊髄伸展による影響). 第14回日本脳波・筋電図学会, 1984, 11, 北九州.

40) 松井寿夫, 伊藤達雄, 本江 卓, 市村和徳: 環軸関節亜脱臼に対する wiring の問題点とその工夫. 第63回中部日本整形外科災害外科学会, 1984, 11, 松江.

41) 高野治雄, 玉置哲也, 辻 陽雄, 野口哲夫, 関 隆夫: 馬尾性間欠跛行に対する下肢電気刺激効

果の解析。第63回中部日本整形外科災害外科学会，1984，11，松江。

42) 海木玄郷，高野治雄，加藤義治，伊藤達雄，辻 陽雄：腰痛症に対するミオナールの使用経験。北陸ミオナール研究会，1984，12，金沢。

43) 金森昌彦，館崎慎一郎，西島宗孝，丸田喜美子，前田明夫：局所膝窩部リンパ節に血行性転移を示した骨肉腫の一症例。第93回北陸整形外科集談会，1984，12，金沢。

44) 前田明夫，玉置哲也，館崎慎一郎，海木玄郷，北川秀機：脊髄くも膜下腔に転移した膀胱腫瘍の一例。第93回北陸整形外科集談会，1984，12，金沢。

45) 市村和徳，伊藤達雄，山田 均，松井寿夫，丸田喜美子：当初腰椎疾患と見誤られた胸髄腫瘍の2例。第93回北陸整形外科集談会，1984，12，金沢。

46) 本江 卓，藤井保寿，渡辺和敏，高野 隆，伊藤達雄，野口哲夫：脊柱管狭窄を伴う完全脱出型頸椎椎間板ヘルニアの検討。第93回北陸整形外科集談会，1984，12，金沢。

47) 辻 陽雄：腰椎外科におけるセラミック棘間ブロックの試作と応用。第14回整形外科セラミック・インプラント研究会，1984，12，東京。

48) 伊藤達雄，辻 陽雄，玉置哲也，館崎慎一郎，山田 均，加藤義治：当科における上位頸椎手術について。第722回千葉医学会整形外科例会，1984，12，千葉。

49) 辻 陽雄：椎間板の神秘とヘルニア治療の展望。第722回千葉医学会整形外科例会特別講演，1984，12，千葉。

◆ その他

1) 辻 陽雄：高令者，腰痛下肢痛の考え方，取り扱い方。第5回日本臨床整形外科医会関東ブロック研修会講演，1984，2，東京。

2) 辻 陽雄：腰椎前方固定術と椎間板ヘルニア前方摘出術。「腰椎の手術—その手技とコツ」卒後教育セミナー，1984，3，東京。

3) 辻 陽雄：整形外科の立場からみた「癩性麻痺」の診かたと治療。石川県国保診療報酬審査委員研修会講演，1984，5，金沢。

4) 辻 陽雄：腰痛下肢痛の促え方と対応。山梨整形外科医会講演，1984，5，甲府。

5) 辻 陽雄：腰痛の解析と治療。三重大学整形外科教室研修会講演，1984，7，三重。

6) 辻 陽雄：名医からのメッセージ「腰」，1984，8，NHKラジオ第2放送。

7) 辻 陽雄：肩こり，腰痛について。富山市保

健学級講演，1984，9，富山。

8) 辻 陽雄：しびれ，肩こり，腰のいたみ—養生法，井波町健康大学講座講演，1984，11，井波。

9) 辻 陽雄：腰痛症。チバガイギーメディカルファイル放送，1984，11。

10) 辻 陽雄：更年期の腰の痛み，足のしびれ—養生法—。'84富山県婦人健康大学校講演，1984，11，富山。

産科婦人科学

教 授	泉 陸	一
講 師	長 阪	恒 樹
講 師	新 居	隆
講 師	川 端	正 清
助 手	八 木	義 仁
助 手	津 留	明 彦
助 手	伏 木	弘
助 手	八 木	裕 昭
助 手	岡 田	尚 美

◆ 原 著

1) 泉 陸一，川端正清，長阪恒樹：卵巣癌の化学療法—薬剤選択と誘発急性白血病について。日産婦会誌 36：311—316，1984。

2) 長阪恒樹，川端正清，新居 隆，細川 仁，泉 陸一：いわゆる Human tumor stem cell assay のヒト婦人性器癌への応用。日産婦会誌 36：1461—1462，1984。

3) Nagasaka T. : Effect of microsurgical ampullary segmental reversal on fertilization in the rabbit. 日産婦会誌 36：2155—2160，1984。

4) Kawabata M. : New establishment and characterization of a carcinoembryonic antigen (CEA)-producing cell line from a human carcinoma of the uterine cervix. 日産婦会誌 36：2619—2628，1984。

5) 泉 陸一，川端正清，白水健士：卵巣腫瘍中間群の治療。産と婦 51：1417—1424，1984。

6) 岡村 隆，竹内 享，西井 修，高橋 稔，宮田礼輔，柳沼 恣，小林拓郎，長阪恒樹：Danazol の Prolactin と Cortisol 放出に対する効果。日内分泌会誌 60：475，1984。

7) 柳沼 恣，西井 修，竹内 享，岡村 隆，小林拓郎，新居 隆：座位分娩のストレスは仰臥位分娩よりも小さい—尿中カテコールアミン濃度の比較。日新生児会誌 20：429—435，1984。